

たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒781-6410 高知県安芸郡田野町1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 隆
(題字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com> E-Mail: info@usui-kai.com



祭屋・ちやいや よさこい演舞2023 (令和5年8月5日)

敬老の日

理事長 白井 隆

9月18日は敬老の日でした。天気も良く、過ごしやすい1日でした。秋晴れと言っても良いような天気でした。

何歳からが敬老の日の対象者になるのでしょうか。敬老の日に関係したニュースでは

80歳以上の人口、人口割合、今後の推移などを耳にし、平均寿命はまだまだ伸びていきそうです。個人差はあるものの、70歳代はまだ若い、80歳代は普通の高齢者、90歳代からはかなりの高齢。私が外来診察をしているとき90歳代の人が何人も

続くとある、途切れたと思ったら88歳、89歳だったり、その後はまだ90歳代の患者さんが続くような日があります。100歳越えの患者さんが混じることもあり

ます。敬老の日の対象者に線引きをして区別するのは難しいですね。人生100年という言葉

を良く耳にし、また目にもしますが、少し前まではとてもとても、100歳なんて非現実的なことでしたが、今は、若い人の多くが現実のこととして、自分も100歳まで生きると考えているのではと思わ

れます。

癌などの悪性疾患に罹患する人は高齢化に伴い増加傾向ですが、同時に医学の進歩に伴い治療法も進歩してきており、さらに心臓関係の治療においても開胸手術に変わりカテーテルでの手術がより安全に行われるようになってきています。我々も驚くばかりです。つまり、これらのことは平均寿命延長に大きく貢献しています。

しかし、地球温暖化の問題や世界各地で起こっている戦争は悲しいかな、どのような結果になるのでしょうか。どのような世界を造るのでしょうか。人生100年なんて関係ないような世界になるのではないのでしょうか。考えてみるに、人類が幸せになるには、超高齢者がたくさんいて、子供もいっぱいいるような世界が一番幸せなのではないかと思

います。日本だけが幸せになんて通用しなくなりそうです。

令和 5 年度 地域医療研修

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた研修医の先生方をご紹介します。

- 1 今回の研修で学び得たことを教えてください。
- 2 研修中、一番印象に残ったことがあれば教えてください。
- 3 指導医、職員の印象を教えてください。
- 4 今回の研修を経て、改めて、どのような医師を目指されますか？



しまむら いっせい
嶋村 一清 研修医
(県立あき総合病院)

出身地：滋賀県
出身大学：高知大学
趣味：パズル (ペンシルパズル、ジグソーパズル)

研修期間
令和 5 年 7 月 3 日～7 月 30 日



- 1 予防医療の大切さや、患者さんの必要な事・希望していることに沿った医療の提供が重要であり、超最先端の医療が絶対的正義ではない事です。
- 2 外来見学で患者さんから診てくれてありがとうと言ってくれる方が多く、信頼されている証拠だなと感じました。
- 3 どんどん何でもやらせて頂けて経験値が上げられるように道を示してくださる先生が多かったです。コメディカルの方を含め、かかわる職員の方も研修医の自分に対して嫌な顔せず接して頂けたので楽しく研修ができました。
- 4 急性期のみならず家に帰る過程、家に帰ってからのフォローも欠かさない脳神経外科の医師

空からの田野病院

8/16(水)さんさんホスピタルインフォメーションの更新撮影を行いました。今回は増改築後という事もあり、初のドローンによる空撮を依頼しました。

合同会社 空中八策のドローン





四国ブロックDMAT実働訓練



外来中材手術部 看護師 岡村 眞紀子

令和 5 年 7 月 15 日 16 日に四国ブロックDMAT実働訓練に田野病院DMAT チーム（理学療法士：森下誠也 看護師：四國大輔 看護師：岡村眞紀子）が参加しました。

まずDMATとは地震など災害が発生した際に概ね 48 時間以内に活動が開始出来る専門的な研修・訓練を受けた医療チームの事です。

田野病院はDMAT指定医療機関であり田野病院のDMAT隊は臼井大介院長をはじめ看護師 3 名事務調整員 3 名で構成されています。

今回の訓練は徳島県内で線状降水帯が発生し吉野川と今切川が決壊し徳島市や吉野川市等が最大 5 メートルの浸水被害があり徳島県より厚生労働省に四国内のDMATの派遣要請がされたとの想定でした。

当日、田野病院のDMATチームは朝 7 時に集合し吉野川ハイウェイオアシスに向かいそこから美馬市にある徳島県西部総合県民局美馬庁舎にあるDMAT調整本部で徳島県内の被害状況の把握や各医療機関からの要求等の対応活動に当たりました。

この実働訓練に参加する事により 9 月 30 日に行われた大規模地震時医療活動訓練にも役立てる事が出来ました。

今後 30 年以内の発生率が 70~80%と言われている南海トラフ地震に備え、田野病院DMATチームはこれからも研鑽を重ねてまいります。



スマートフットレスト説明会

6 月 30 日に、高知市にある有限会社ハーティー・メッセージの敷地さんに「スマートフットレスト」についての説明会を開催して頂きました。

「スマートフットレスト」は車椅子のフットレストに使用するものです。ワイヤーを使用しているため跳ね上げがとても軽く、足を乗せるときは二つに折りたたんだため足上げる高さが低くて済みます。そのため、従来の車椅子のフットレストでみられる”手でフットレストを操作する”ということが無くなります。

敷地さんは元々理学療法士であり、新型コロナウイルス感染症の蔓延をきっかけに感染予防対策の一助として、スマートフットレストを開発・製造・販売することを始められました。販売するにあたり、50 セット以上のスマートフットレストを全国の病院や施設で事前に使用してもらい、ご意見を元に改良をされたそうです。その成果として、今年 8 月 26 日に開催された日本にリハビリテーション工学協会主催による第 34 回福祉機器コンテスト 2023 では優秀賞に選ばれています。

現在、西病棟の車椅子に導入しており、患者さんからもご好評いただいています。





祭屋-Saiya-よさこい踊り子隊 2年連続受賞！

2023年、第70回よさこい祭りにて【地区競演場連合会奨励賞】を受賞することが出来ました。今年は4年振りの通常開催でどのチームもかなり準備をしてよさこい祭りに臨んでいたと思います。僕は祭屋で踊り初めて9年目になりますが、いままで前夜祭から踊ったことが無く、新型コロナウイルス感染症にて3年ほどよさこい祭りが無かった為、今年は初の前夜祭から後夜祭までの4日間を踊りきる事ができすごく思い出に残る第70回大会となりました。

僕はインストラクターで踊り子さん達に踊りを教える立場ですので、毎回踊り子さんとのコミュニケーションや踊りの教え方に悩んでいますが、やはり踊り子さん達が踊れるようになって来るとすごく嬉しく、本祭中に踊り子さんに「メダル貰えたで、ありがとう！」と言われるとインストラクターをやっている良かったなと思います。

また、僕がよさこい祭りに参加出来るのは職場の理解があってこそです。よさこいの練習期間中には「毎日大変やね。体に気をつけてね。」とよく職場の人には声を掛けてもらえます。そのような声かけが僕にやる気とパワーをくれます。このような温かい職場だからこそ、よさこい祭りへの参加ができるのだと思っています。上司や先輩、同僚、後輩など周りの環境にとっても感謝しています。来年度も祭屋-Saiya-よさこい踊り

子隊は活動していきます。

皆様、手拍子、ご声援の程、よろしくお願ひします！！

(リハビリテーション部 理学療法士 横内 克之)



ちやいや 初登場！！

近年、よさこいチームがプロ化し各チームの踊りのレベルが上がった反面、ダンス未経験の人達が踊ることが出来ていた場所が少しずつ失われているのではないかという思い、高知の未来を担う子ども達によさこい祭りの楽しさを幼いうちから知ってもらいたいという願いから、今年祭屋はジュニアチーム「ちやいや」を立ち上げました。

子育て奮闘中の祭屋0B・0Gが中心となり、一般募集も含め総勢72名で初めてのよさこい踊り、よさこい祭りを経験してきました。私ももれなく子育てにより祭屋を離れざるを得なかった0Gであり、今年は4年ぶりのよさこい参加でした。

ちやいやは全体練習も2回程しかなく、YouTubeの振り付け動画を観ながら自宅練習です。1分ちょっとの短い曲の繰り返し、簡単な、いや簡単過ぎる振り付けの繰り返し。最初は「やっぱり私は祭屋でチーム引っ張ってバリバリ踊りたーい(>_<)」というのが正直なところでした。練習も暑い日は今日はやめようなんて思う日も多々…でも4歳の娘が毎日夕食が終わると「ママ～よっちょれの練習行こう～」と駐車場へ連れ出すのです。どんどん上達していく娘に教えているとだんだんこちらも楽しくなってきた、本番も娘の笑顔を隣で見ながら一緒に踊っていると「こんなよさこい人生もありかもな～」と思えたことでした。

田野病院でのよさこい演舞もみなさん楽しみにして下さっていたとのこと、嬉しかったです。チームとして初めてお客さんの前で披露する場でしたので子ども達は表情もカチコチになっていましたが、温かい拍手やご声援ありがとうございました。(リハビリテーション部 言語聴覚士 小松 真弥)



当院には特定行為看護師が在籍しています

西病棟 看護師 小松 優子
回復期リハビリテーション病棟 看護師 山中 志保

(1) 特定行為とは・・・

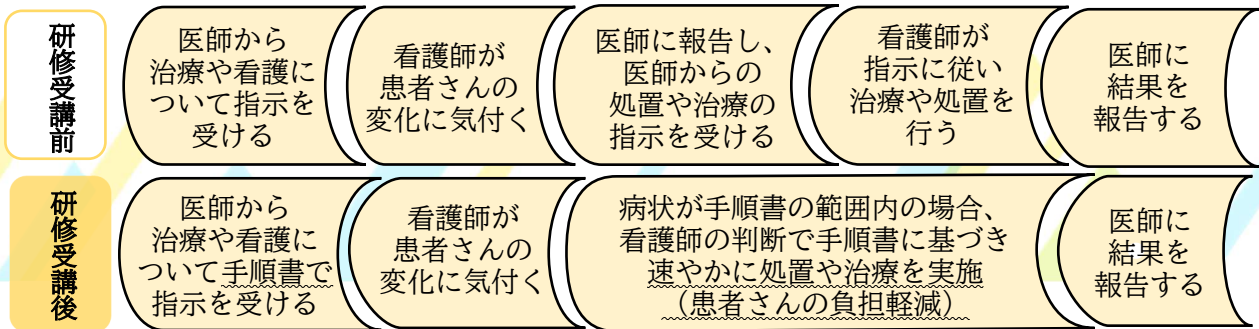
高度で専門的な知識・技能を、特定行為研修により身につけた看護師が、医師による手順書をもとに行う診療の補助のことです。難易度の高い診療の補助業務を、医師があらかじめ作成する「手順書」という指示のもと実践し、医師の到着を待たず、患者さんの症状にあわせて必要な処置ができます。

(2) 私たちが履修した特定行為区分

- ・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
- ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
- ・侵略的陽圧換気の設定の変更
- ・非侵略的陽圧換気の設定の変更
- ・人工呼吸器からの離脱の援助
- ・気管カニューレの交換
- ・直接動脈穿刺法による採血
- ・橈骨動脈ラインの確保
- ・抗けいれん薬の臨時の投与
- ・インスリンの投与量の調整
- ・脱水症状に対する輸液による補正
- ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整



(3) 特定行為 実施の流れ



地域に活気を!!

たのしい土曜日

～ 四国一小さい町【田野町】のたのしいイベント お寺マルシェ ～



前回9月2日(土)に開催された第8回目では、カレーやたい焼きといったキッチンカーをはじめ、アクセサリーにイヌネコの雑貨などの出店がありました。

日時 奇数月第1土曜 (次回11/4)
11時～16時

場所 長法寺(田野町1894-1)境内・駐車場
※駐車場は、当院の東側駐車場など
主催：カルテットさん



入場無料



日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会での発表

リハビリテーション部 理学療法士 森下 誠也



9月2、3日に日本科学未来館で開催された日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会2023に参加し、当院コロナ禍でのリハビリスタッフに対するアンケート調査について発表させていただきました。入院患者さんへの対応をしたスタッフへの精神的負担は考慮されている一方で、自宅へ直接出向く訪問リハビリスタッフの精神的負担は想像よりも大きく、まだまだ続く状況でのスタッフへの対応を考えさせられる結果でした。

対面での学会参加・発表はとても久しぶりでしたが、オンラインでの参加と違い直接顔を見ながらご意見やご感想を頂けることは、とても良い刺激になりました。そして何より久しぶりに感じた学会の雰囲気にも引き締まりました。今後も継続して参加・発表をしたいと思います。

コロナ禍におけるリハビリテーションスタッフのストレスに関するアンケート調査

医療法人曰井会田野病院 リハビリテーション部

○森下誠也 宮田千華 田口貴文 山下恵美 細田隆之



リハビリテーション部主催

ノーリフト研修

リハビリテーション部 理学療法士 前野 友秀



医療、介護の現場では腰痛をかかえるスタッフが多いです。田野病院では「ノーリフト®ケア」、「腰痛予防」への取り組みを行っています。「ノーリフト®ケア」とは介護される側、する側双方において安全で安心な、抱え上げない・持ち上げない・引きずらないケアのことです。また、ケアのみでなく日々の姿勢や動作、職場環境を改善することで「腰痛予防」につなげようという考えです。

令和5年度は毎月6名の参加者（看護、介護職）に対して2回の研修を実施し、知識、技術の伝達、復習を行っています。正しい知識、技術を共有するスタッフを増やすことで患者様に提供出来るケアを統一し、質を向上させます。また、患者様、スタッフ双方に安全で安心な環境づくりを行っています。

最後に「ノーリフト®ケア」、「腰痛予防」への取り組みで大切な事は日々の悪い点への気づき、変えようという意識です。例えば、同じ姿勢で6秒以上いること、女性は8kgの物を持つことで腰痛発生リスクがあると言われていています。仕事だけでなく、皆さんの日々の過ごし方を振り返ってみて腰痛発生リスクはないか考えてみて下さい。





職員家族の活躍紹介



ヘルパーステーションの 介護福祉士 西岡 優子

私の娘が所属する高知中央高校ダンス部は去年の夏、東京体育館で行われた「全国高等学校ダンスドリル選手権大会」にてHIPHOP男女混成部門準優勝、Mr. SOLO部門3位、HIPHOP男子部門4位の3部門で『MISS DANCE DRILL TEAM INTERNATIONAL IN USA 2023』の日本代表に認定され全米大会に出場させていただきました。

全米大会ではHIPHOP男女混成部門で2位となる等3部門で上位入賞をいただきました。男女混成はメンバー10人で仁淀川のにこ淵をイメージした青い衣装で、八神純子さんの「水色の雨」のリミックス曲をHIPHOPに合わせ、川や雨を表現した滑らかな動きで踊りました。

何度も練習し、練習ではなかなかVにそろわせることが出来なかったが、本番では綺麗に揃うことが出来たという勝負強さもあるようです。

ダンス部の活動では、よさこい演舞、甲子園の応援、8月24日には『全国高等学校ダンス部選手権』というレベルの高い大会にも出場してきました。

24時間テレビでは中高生ダンスコンテストが行われ、8チームの中で優勝も頂くことが出来ました。この受賞により、ワタナベエンターテイメント 爆笑!ネタ祭り2023にも出演させていただけることとなりました。

このような形で日々、練習に励んでいます。Instagram、X(旧Twitter)にも掲載していますので応援よろしくをお願いします。



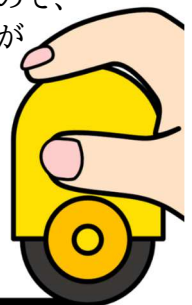
令和5年度 個人情報保護研修を行いました

経営企画部 総務課 小山 栄治

令和5年9月、個人情報保護研修～取扱いの基本ルール～を行いました。

患者さまの情報は大変デリケートな情報ですので、医療従事者に限らず病院職員すべてに守秘義務が課せられています。本研修では、ネットや立ち話などでの情報漏洩ケースとその対策について確認を行いました。

今後も定期的に個人情報保護についての研修を行い、患者さまに信頼していただけるよう守秘義務の意識を保つよう努めていきます。



4. 情報漏洩のパターンと対策

SNSの利用は個人の自由
しかし...
職場で知り得た情報を書き込むのは
個人情報保護法 違反!!
守秘義務 違反!!

自分が見たいだけ...
職場のことをネット上に書き込まないよう決めておくことも対策のひとつです

5. 家族・知人に患者さんのことを話した

日常会話のつらさが...
プライバシーの侵害 (知りやう?)
個人情報の漏洩 (知りやう?)

話を聞いた第三者の方などの間合せ等で事案が発生します。
家族・知人に患者さんの個人情報話すこと自体が情報漏洩となります。
守秘義務があることを忘れないうべし。

個人情報を守ろう

南海トラフ地震を想定した大規模災害訓練に参加しました



薬剤部部長 兼 災害・危機対策管理者 齊藤 忠男

日中の暑さが少し和らぎ始めた9月30日(土)に内閣府主催の「令和5年度大規模地震時医療救護訓練」が高知県をはじめ南海トラフ地震による被災が予想される6県で同時に開催されました。

高知県からは県庁や各保健所・市町村をはじめ、約20の医療機関・福祉施設が参加し、全国から70チーム(約400人)のDMAT(災害派遣医療チーム)が高知県内に集結し、行政機関などと連携し、被災状況の把握や医療機関への人的・物的支援の流れの確認、院内災害対策本部の運営支援などを行いました。

当院でも院内災害対策本部訓練を実施し、病院機能を維持するべくBCP(災害時事業継続計画)に基づいて、17名のスタッフが参加し、院内の被災状況や電気・水・食料などのライフラインの確認、衛星電話を用いて保健所と連絡を取るなど発災時の初期対応について手順を確認しました。

また、当院での訓練と合わせて、当院のDMAT隊員2名を高知県庁に設置された高知県保健医療調整本部へ派遣し、県内全域の被災状況の把握、DMATをはじめとする医療支援チームの管理、県内企業と連携して支援物資の確保、支援先の決定など多岐にわたる業務を行政職員と連携して行いました。

今後も災害時でも地域医療を支えられるよう、繰り返し訓練などを行っていききたいと思います。



1階自販機コーナーをリニューアルしました！

こだわり抜いて

経営企画部総務課 小山 栄治

長らくご不便をお掛けしておりましたが、自販機コーナーのリニューアル工事が完了いたしました。

自販機は4台設置しています。飲料2台、パック飲料1台、アイスクリーム1台です。また、今回初めて「ポスマート」を設置いたしました。ポスマートでは、パン、各種のお菓子、インスタント食品などを買うことができます。料金は、飲み物を買う要領で、とりにあるポスマート専用自販機に入れていただき欲しい商品のボタンを押していただく、良心市のような購入方法となります。

室内の内装デザインはセンス抜群の総務課職員が手掛け、病院とは思えない空間となりました。窓側にはカウンターテーブルを設置し、イートインスペースとしてあります。音楽も流れておりますので、限られたスペースではありますが、ご来院の皆様にも少しでもくつろいでいただけたら嬉しいです。

なお、24時間オープンしておりますので、入院中の患者様はいつでもご利用いただけます。



【ポスマートの利用方法】



1.取る



2.入金



3.押す



ふれあい看護体験を行いました

看護部長 岡本 直樹

8月3日当院にて、高校生4名のふれあい看護体験を行いました。病院見学の後、病棟で検温や食事介助等を見学。午後からは患者体験や救急蘇生についても体験してもらいました。最後の振り返りで、「今日で看護にもっと興味がわきました」と言って頂きました。この体験を通じて、将来看護職を志してもらえると嬉しいです。私にとっても、初々しい学生さんの笑顔に癒やされた一日でした。



新人紹介

①所属・職種 ②出身地 ③趣味・
特技 ④どのようなことで頑張っ
ていきたいですか？

編集後記

秋になり、過ごしやすくなってきました。スポーツの秋ということで、なにか新しい運動でも初めて見てはいかがですか？ 田野病院ではバスケットボールサークルがあります。半分以上のメンバーがバスケ初心者です。職員のコミュニケーションと運動目的でワイワイやっています。参加してみたいと思われる方は声をおかけください。大歓迎です！！

地域医療連携室
主任 島村 勇希